

総会 並びに会員研修 A 要項

期日：令和元年6月21日（金）

会場：宮城県立船岡支援学校 会議室
（午後から体育館）

1 日 程

10:00～10:30	10:30～10:45	11:00～12:00	12:00～13:00	13:00～15:00	15:15～15:30
受付	開会行事	総会	昼食	会員研修 A	閉会行事

※10：10から，役員・司会者・発表者打合せを家庭科室で行います。

2 開会行事 10：30～10：45

進行：石巻市立蛇田小 松川 淳子， 登米市立新田小 佐藤 正彦
記録：西多賀支援 大学 雄一

(1) 開会の挨拶・・・・・・・・・・肢病専部長 船岡支援学校 校長 菅原 幸弘

(2) 諸連絡

3 総 会 11：00～12：00

司会：西多賀支援 大学 雄一 記録：船岡支援 綱川 若奈，島津 幸子

(1) 議長選出

(2) 協議

- ① 平成30年度事業報告・・・・・・・・P 1
- ② 平成30年度会計報告・・・・・・・・P 2～P 4
- ③ 平成30年度監査報告・・・・・・・・P 2～P 4
- ④ 令和元年度役員選出（案）・・・・P 5
- ⑤ 令和元年度事業計画（案）・・・・P 6
 - ア 今年度の肢病専部テーマについて
「一人一人が生きる肢体不自由・病弱虚弱教育の在り方を求めて」
 - イ 各種事業の分担について・・・・P 7～P 8
- ⑥ 令和元年度会計予算（案）・・・・P 9～P 11
- ⑦ 規程改正について・・・・・・・・P 14～P 15
- ⑧ その他

(3) 連絡，確認事項

- ① 会費納入方法について・・・・・・・・P 12～P 13
- ② その他

肢病専部HP <https://funayou.myswan.ed.jp/extremity>

(4) その他

4 会員研修A ※ 場所は体育館です。運動しやすい服装と上靴をご準備ください。
13:00～15:00
進行：拓桃支援 安藤 祥世 記録：拓桃支援 佐藤 由美

(1) 講師紹介・・・・・・・・・・肢病専部長 船岡支援学校 校長 菅原 幸弘

(2) 実技研修

テーマ：「肢体不自由のある子供の体育～拓桃スポーツ集の紹介を通して～」 講師：拓桃支援学校 教諭 吉成 知之 先生
--

(3) 質 疑

(4) お礼の言葉・・・・・・・・・・肢病専部副部長 山元支援学校 教頭 井上 健一

5 閉会行事 15:15～15:30
進行： 記録：

(1) 閉会の挨拶・・・・・・・・・・肢病専部事務局長 船岡支援学校 教頭 千葉 拓哉

(2) 諸 連 絡・・・・・・・・・・肢病専部事務局 船岡支援学校 主幹教諭 今野 健

昼食を本校でとられる方は、会議室を御利用ください。 着替える方は、寄宿舍2階の更衣室を御利用ください。 会員研修Aは体育館で行います。

平成30年度 宮城県特別支援教育研究会 肢体不自由病弱虚弱教育専門部 事業報告

部長 栗林 正見

事務局 千葉 拓哉 (事務局長) 今野 健・川田 久美子 (会計担当)

綱川 若奈・及川 奈美江・池田 尚英・武田 幸司

八嶋 貴彦・三浦 浩子・佐藤 百合子・大桑 類・菅野 真理

研 究 大 会 等	月日	名称	内容	場 所	参加人数	発表者数	講師等の職名・氏名
	5月25日(金)	第1回役員会	平成30年度 事業について 他	船岡支援	22		
6月5日(水)	総会及び 研究協議会	平成30年度 事業についての協議 研究協議 及び講演		42	2	【話題提供】 担当：石巻・南三陸 『体力・運動技能を高めるための指導の一試み』 ～学校行事 運動会までの継続的活動を通して～ 講師：石巻市立開北小学校 教 諭 川田 万里子 氏 『進行性難病を抱える生徒への支援について考える』 ～病弱・身体虚弱学級の新設から現在までの支援体制を通して～ 講師：気仙沼市立面瀬中学校 教 諭 尾谷 祐子 氏 【講演】 担当：拓桃支援 『肢体不自由学級、病弱・身体虚弱学級の現状と課題、その対応について』 講師：仙台市立長命ヶ丘中学校 校 長 秋山 一郎 氏	
	第2回役員会	東北特研、 会員研修等について	船岡支援	12			
8月8日(水)	臨時役員会	東北特研について 他	船岡支援	22			
	会員研修A	施設見学	障害者支援施設みほう	36			
11月16日(金)	会員研修B 東北特研宮城大会	研究協議会	西多賀支援	46	2	担当：西多賀支援 【東北特研第8分科会・話題提供】 『病弱特別支援学校の進学指導について』～大学進学を実現するまで～ 講師：宮城県立西多賀支援学校 教 諭 白石 康 氏 『肢体不自由児童のコミュニケーション能力をはぐくむ取組』 講師：秋田県横手市立横手南小学校 教 諭 上田 健 氏 助言：国立大学法人 宮城教育大学 准教授 寺本 淳志 氏	
1月29日(火)	第3回役員会	平成30年度事業等 中間報告、年度反省 他	船岡支援	21			

	名 称	規 格		売・非売の別	発行部数	頒 布 先
		版	ページ数			
成果 刊 行 等	肢病専門機関誌『あゆみ』第52号	CD-R		非売	500部	肢病専会員、宮特研事務局
	肢病専だよりNo. 1	A4	4	非売	500部	各教育事務所、各教育委員会
	肢病専だよりNo. 2	A4	4	非売	500部	事務局（船岡支援）のHPに掲載

※9月28日（金）に、拓桃支援学校が主管校となり、同校を会場に、第56回東北肢体不自由教育研究大会（宮城大会）が行われ、本専門部会員2名が話題提供者として発表いたしました。

平成30年度 宮城県特別支援教育研究会 肢体不自由病弱虚弱教育専門部 会計決算報告

1 収入の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減(△減)	備考
繰越金	30,157	30,157		
会費	160,000	159,600	△400	400円×398名 + 400円(誤って入金された1名分)
雑収入	0	0		
合計	190,157	189,757	△400	

2 支出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減(△減)	備考
研究会費	60,000	0	△60,000	講師謝礼等の支出なし
機関誌発行費	45,000	44,628	△372	封筒代, 郵送代, 紙代(CD-R代, ケース代)
事務費	50,000	14,271	△35,729	連絡文書郵送代, 消耗品代
会議費	8,000	7,256	△744	お茶菓子代
東北肢不研準備積立金	10,000	10,000	0	
東北病連準備積立金	10,000	10,000	0	
予備費	7,157	522	△6,635	
その他		400		誤って入金された会費の返金
合計	190,157	87,077	△103,080	

3 差引残高 収入 支出 差引残高
 189,757 - 87,077 = 102,680 円

以上のとおり決算報告をいたします。尚、残額は次年度に繰越します。

平成31年 3月 12日

肢病専会計

今野 健
川田 久美子

監査の結果、諸帳簿など上記のとおり相違ないことを認めます。

平成31年 3月 18日

肢病専 監事

伊藤 昭郎

平成31年 3月 19日

肢病専 監事

安藤 祥

平成30年度 東北肢不研準備積立金 会計決算報告

1 収入の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減(△減)	備考
繰越金	155,605	155,605		
積立金	10,000	10,000		
雑収入	0	0		
合計	165,605	165,605		

2 支出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減(△減)	備考
研究会補助	108,000	108,000		
合計	108,000	108,000		

3 差引残高 収入 165,605 支出 108,000 差引残高 = 57,605 円

以上のとおり決算報告をいたします。尚、残額は次年度に繰越します。

平成31年 3月 12日

肢病専会計

今野 健
川田 久美子

監査の結果、諸帳簿など上記のとおり相違ないことを認めます。

平成31年 3月 18日

肢病専 監事

伊藤 昭郎

平成31年 3月 19日

肢病専 監事

女藤 祥世

平成30年度 東北病連準備積立金 会計決算報告

1 収入の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減(△減)	備考
繰越金	185,671	185,671		
積立金	10,000	10,000		
雑収入	0	0		
合計	195,671	195,671		

2 支出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減(△減)	備考
研究会補助	0	0		
合計	0	0		

3 差引残高 収入 支出 差引残高
 195,671 - 0 = 195,671 円

以上のとおり決算報告をいたします。尚、残額は次年度に繰越します。

平成31年 3月 12日

肢病専会計 今野 健

川田 久美子

監査の結果、諸帳簿など上記のとおり相違ないことを認めます。

平成31年 3月 18日

肢病専 監事 伊藤 昭郎

伊藤 昭郎

平成31年 3月 19日

肢病専 監事 安藤 祥世

安藤 祥世

令和元年度 宮城県特別支援教育研究会 肢体不自由病弱虚弱教育専門部 役員(案)

No.	役名	氏名	学校名	職名	ブロック名	備考
1	部長	菅原 幸弘	宮城県立船岡支援学校	校長	特別支援	新
2	顧問	菅原 信治	宮城県立西多賀支援学校	校長	特別支援	新
3	顧問	跡部 久美	宮城県立拓桃支援学校	校長	特別支援	
4	顧問	樋口 美穂	宮城県立山元支援学校	校長	特別支援	
5	事務局長	千葉 拓哉	宮城県立船岡支援学校	教頭	特別支援	
6	副部長	三浦 卓也	宮城県立西多賀支援学校	教頭	特別支援	
7	副部長	川島 克友	宮城県立拓桃支援学校	教頭	特別支援	新
8	副部長	井上 健一	宮城県立山元支援学校	教頭	特別支援	
9	幹事	菅原 めぐみ	仙台市立川平小学校	教諭	仙台市	新
10	幹事	佐藤 昭彦	柴田町立船迫小学校	教諭	大河原	新
11	幹事	小川 仁志	山元町立山下小学校	教諭	仙台	新
12	幹事	佐藤 浩子	大崎市立松山小学校	教諭	大崎	新
13	幹事	伊藤 千尋	栗原市立金成小学校	講師	栗原	新
14	幹事	松川 淳子	石巻市立蛇田小学校	教諭	石巻	新
15	幹事	佐藤 正彦	登米市立新田小学校	教諭	登米	
16	幹事	千葉 恭子	気仙沼市立九条小学校	教諭	気仙沼	新
17	幹事兼監事	大学 雄一	宮城県立西多賀支援学校	教諭	特別支援	新
18	幹事	富田 勝利	宮城県立西多賀支援学校	教諭	特別支援	新
19	幹事	佐藤 由美	宮城県立拓桃支援学校	教諭	特別支援	
20	幹事	佐藤 明美	宮城県立山元支援学校	教諭	特別支援	
21	監事	安藤 祥世	宮城県立拓桃支援学校	教諭	特別支援	
22	事務局	今野 健	宮城県立船岡支援学校	主幹教諭	特別支援	
23	事務局	川田 久美子	宮城県立船岡支援学校	主幹教諭	特別支援	
24	事務局	菅野 真理	宮城県立船岡支援学校	主幹教諭	特別支援	

今年度の肢病専部研究テーマについて

「一人一人が生きる肢体不自由・病弱虚弱教育の在り方を求めて」

令和元年度 宮城県特別支援教育研究会 肢体不自由病弱虚弱教育専門部 事業計画 (案)

日 程	事 業 名	主 な 内 容	担当校
6 月	第 1 回役員会 1 0 日 (月)	①事業計画・予算の検討 ②総会・会員研修の準備 ③東北特研について ④全肢研, 全病連について ⑤宮特研夏季研修会について 他	船 岡
	総会並びに会員研修 A 2 1 日 (金)	①事業計画案, 予算案の審議と決定 ②会員研修 A 研修会担当: 拓桃 講師: 拓桃支援学校 吉成 知之 先生	船 岡
	第 2 回役員会 (総会終了後)	①会員研修 B と話題提供についての確認 ②総会で出た検討事項の共通理解と対処 ③宮特研夏季研修会, 全病連, 東北特研, 全肢研, について	船 岡
7 月	宮特研夏季研修会 3 0 日 (火)	講演: 学校の特性を生かす ～こどもが「この学校に来てよかった」と思うような, 忘れられない思い出を作ろうぞ!～ 講師: 船岡支援学校 教諭 富樫 裕一 先生	船 岡
8 月	会員研修 B 9 日 (金)	講演会又は施設見学 (巨理ありのまま舎) 話題提供	山 元 西多賀
夏季休業中	肢病専だより 1 号発行	「教室の窓から」執筆担当: 拓桃	船 岡
1 1 月	東北特研福島大会 1 4 日 (木)～1 5 日 (金)	話題提供: 船岡支援学校 教諭 丹野 道彦 先生	船 岡
1 月	第 3 回役員会	①事業・会計の中間報告及び反省 ②次年度の事業・予算について ③会員研修の内容について ④各大会の反省 ほか	船 岡
2 月	肢病専だより 2 号発行	「教室の窓から」執筆担当: 西多賀	船 岡
3 月	機関誌発行	あゆみ第 5 3 号 執筆担当: 仙台・大河原, 仙台市, 全支援学校	船 岡

※令和元年 8 月 1 日 (木)～2 日 (金) 仙台国際センターにおいて, 西多賀支援学校が主管校となり,

第 6 0 回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会 (宮城大会)

第 4 6 回東北地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会 (宮城大会) が開催されます。

※令和元年 1 月 1 3 日 (水)～1 5 日 (金), 青森県において, 第 6 5 回全国肢体不自由教育研究協議会青森大会が
開催され, 本専門部会員 2 名 (拓桃支援と船岡支援) が発表する予定です。

令和元年度 各種事業の分担

1 事務局

船岡支援学校を事務局とする。

2 各種事業分担順

会員の意識の高揚と専門部活動の振興のため、ブロック及び特別支援学校の輪番で担当する。

<<<事業分担計画早見表>>>

		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	輪番パターン
事務局		船岡支援	船岡支援	船岡支援	船岡支援	船岡支援	—
総会及び 会員研修A	会場	船岡支援	船岡支援	船岡支援	船岡支援	船岡支援	—
	司会	山元支援	西多賀支援	山元支援	拓桃支援	西多賀支援	A
	会員研修A 実技研修等及び情報交換	西多賀支援	拓桃支援	西多賀支援	船岡支援	山元支援	B
会員研修B	講演又は施設見学	船岡支援	山元支援	拓桃支援	西多賀支援	船岡支援	B
	話題提供	石巻・気仙沼	西多賀	仙台市	仙台・大河原	山元支援	C
肢病専機関誌 「あゆみ」執筆	仙台・大河原 石巻・気仙沼 仙台市	仙台・大河原 仙台市	栗原・登米※ 大崎	仙台・大河原 石巻・気仙沼 仙台市	仙台・大河原 仙台市	D	
	全支援学校	全支援学校	全支援学校	全支援学校	全支援学校	—	

		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	輪番パターン
肢病専だより 『教室の窓から』	7月	大河原	拓桃支援	船岡支援	栗原	登米	E
	12月	大崎	西多賀支援	山元支援	仙台	石巻	

		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	輪番パターン
宮特研夏季研修会			船岡支援	山元支援	拓桃支援	西多賀支援	B

3 輪番パターン等について

(1) 【総会の司会】は、特別支援学校が担当し、以下Aパターンで輪番とする。

拓桃支援 → 西多賀支援 → 山元支援

(2) 【会員研修A】、【会員研修B】の講演会、【宮特研夏季研修会】の講座担当は、特別支援学校が担当し、以下Bパターンで輪番とする。

拓桃支援 → 西多賀支援 → 船岡支援 → 山元支援

※「施設見学」と「講演会」は原則交互に実施する。

※「実技研修」については、粗大運動、感覚運動、教材教具、体育的内容の中から選択して実施する。

※「講演会」については、原則医療と訓練的な内容を交互に実施する。

(3) 【会員研修Bの話題提供】は、以下Cパターンで輪番とする。

山元支援 → 栗原・登米 → 船岡支援 → 大崎 → 拓桃支援 →
石巻・気仙沼 → 西多賀支援 → 仙台市 → 仙台・大河原

(4) 【肢病専機関誌「あゆみ」】は、特別支援学校は全校執筆。各ブロックは以下Dパターンで輪番とする。

仙台・大河原，石巻・気仙沼，仙台市 → 仙台・大河原，仙台市 → 栗原・登米，大崎

※その年度における【会員研修Bの話題提供者】の原稿も載せる。

※その他、個人の研究論文の投稿を募集し、掲載していく。

※原稿は、必ず各校の責任者の方に目を通していただいてから、事務局へメールにて送付する。

(5) 【肢病専だより】は、年2回、発行予定。「教室の窓から」のコーナーは、以下Eパターンで輪番とする。総会及び会員研修については、担当校（ブロック）が原稿を執筆する。

栗原 → 仙台 → 登米 → 石巻 → 気仙沼 → 仙台市 → 大河原 → 大崎 →
拓桃支援 → 西多賀支援 → 船岡支援 → 山元支援

※原稿は、必ず各校の責任者の方に目を通していただいてから、事務局へメールにて送付する。

写真添付の場合は、保護者に確認する。

事務局メールアドレス： funayou-kyomu@od.myswan.ed.jp

3-(2)-⑥ 令和元年度会計予算（肢病専）

令和元年度 宮城県特別支援教育研究会 肢体不自由病弱虚弱教育専門部 会計予算（案）

1 収入の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減（△減）	備考
会費	160,000	144,000	△16,000	400円×360名（60名減）
繰越金	30,157	102,680	72,523	
雑収入	0	0	0	利子，利息
合計	190,157	246,680	56,523	

2 支出の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減（△減）	備考
研究・研修会費	60,000	180,000	120,000	総会，研究会・研修会費
機関誌発行費	45,000	8,000	△37,000	送料等
事務費	50,000	30,000	△20,000	通信費，用紙代， 事務用品等
会議費	8,000	8,000	0	役員会等
東北肢不研 準備積立金	10,000	10,000	0	
東北病連 準備積立金	10,000	10,000	0	
予備費	7,157	680	△6,477	
合計	190,157	246,680	56,523	

令和元年度 東北肢不研準備積立金 会計予算（案）

1 収入の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減（△減）	備考
積立金	10,000	10,000	0	東北肢不研積立金
繰越金	155,605	57,605	△98,000	東北肢不研積立繰越金
雑収入	0	0	0	
合計	165,605	67,605	△98,000	

2 支出の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減（△減）	備考
研究会補助	108,000	0	△108,000	
予備費	57,605	0	△57,605	
合計	165,605	0	△165,605	

※昨年度、平成30年9月28日（金）に、拓桃支援学校が主管校となり、同校を会場に、「第56回東北地区肢体不自由教育研究大会（宮城大会）」が開催されました。
今年度の支出予定はありません。

令和元年度 東北病連準備積立金 会計予算（案）

1 収入の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減（△減）	備考
積立金	10,000	10,000	0	東北病連積立金
繰越金	18,5671	195,671	10,000	東北病連積立繰越金
雑収入	0	0	0	
合計	195,671	205,671	10,000	

2 支出の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減（△減）	備考
研究会補助	0	200,000	20,000	
予備費	0	5,671	5,671	
合計	0	205,671	205,671	

※今年度、令和元年8月1日（木）～2日（金）、仙台国際センターにおいて、西多賀支援学校が主管校となり、

「第60回全国病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会（宮城大会）」

「第46回東北地区病弱虚弱教育研究連盟研究協議会並びに総会（宮城大会）」

が開催されます。

会費の納入について

- 基本的には会員個人が納入します。
- 昨年度の例を見ると、以下の二つのパターンがあります。

.....

1 市町村で納入いただく場合

- ・請求書は、各市町村に送付いたします。
- ・昨年度は以下の市町村教育委員会が一括納入でした。

白石市，七ヶ宿町，大河原町，柴田町，川崎町，角田市，丸森町，塩竈市，利府町，松島町，多賀城市，七ヶ浜町，名取市，岩沼市，亘理町，山元町，富谷市，大郷町，大崎市，涌谷町，栗原市，石巻市，東松島市，女川町，登米市，南三陸町，気仙沼市

2 会員個人で納入いただく場合

- ・昨年度は以下の市町村，及び特別支援学校の方が個人で納入しました。

仙台市，美里町，加美町，色麻町，大和町，全特別支援学校教員

※会員個人で納入の場合…

(1) 金融機関から振り込む

- ・会費の振り込みの際は、学校名とお名前を御記入ください。
- ・振込手数料も御負担願います。
- ・記入期間からの振り込みの場合、振込依頼書を受領書に代えさせていただきます。

(2) 直接納入する

- ・会費は、直接事務局へ納入することもできます。会員研修等の際に事務局の職員へ、若しくは船岡支援学校にお越しの際にお納めください。

.....

- 上記のように、各市町村での対応がまちまちのため、まず事務局で各市町村に確認の上、個人で納入いただく方にのみ、学校宛で請求書を送付させていただきます。請求書が届いた方のみ金融機関で振込手続きをお願いいたします。
- 受領書が必要な場合は、直接納入時と同様に発行しますので、事務局まで御連絡ください。

請求書

令和元年〇〇月〇〇日

〇〇〇学校会員 殿

金 〇〇〇 円

ただし、令和元年度 宮城県特別支援教育研究会 肢体不自由病弱虚弱教育専門部負担金として上記の金額を下記のとおり請求します。

(請求金額 〇〇〇円 × 会員数 〇名 = 〇〇〇円)

宮城県特別支援教育研究会 職
肢体不自由病弱虚弱教育専門部
部長 菅原 幸弘 印

事務局 宮城県立船岡支援学校
〒989-1605
柴田郡柴田町船岡南二丁目3番1号

【振込先】

①ゆうちょ銀行 郵便振替電信振込依頼書
口座・通帳番号 18100
番 号 12027121
加 入 者 宮城県特別支援教育研究会
肢体不自由病弱虚弱教育専門部
代表 菅原 幸弘

※他校から振り込む場合

店 名 八一八 (はちいちはち)
店 番 818
普通預金 口座番号 1202712

②七十七銀行 七十七銀行 宮城町支店 店コード 296
普通預金 口座番号 5305292
名 義 肢病専事務局 代表 菅原 幸弘

■参考-送金手数料

【ゆうちょ銀行→ゆうちょ銀行】(ATM) 無料 (月3回まで)
(窓口) 144円
(ゆうちょダイレクト) 無料 (月5回まで)
【七十七銀行→ゆうちょ銀行】(ATM) 324円 (カード使用)
(窓口) 648円
【七十七銀行→七十七銀行】(ATM) 108円 (カード使用)
(窓口) 324円

※他にもいろいろな振込方法と手数料があります。各自で御確認ください。

宮城県特別支援教育研究会 肢体不自由病弱虚弱教育専門部規程

<名称・目的・事業>

第1条 本会は宮城県特別支援教育研究会の組織に属して、宮城県特別支援教育研究会肢体不自由病弱虚弱教育専門部と称して、事務局を部長の所属する学校に置く。

第2条 本会は、肢体不自由病弱虚弱者に対する教育の研究と福祉の向上に努め、併せて学校・会員相互の連絡提携を図り、本県特別支援教育の振興に資する。

第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 1 研究会及び研修会の開催
- 2 調査研究の実施及び情報の交換
- 3 宮城県特別支援教育研究会への参加
- 4 学校・会員相互の連絡提携
- 5 その他

<組 織>

第4条 本会は次の学校・分校・学級に勤務する教職員をもって組織する。

- 特別支援学校（肢体不自由者・病弱者）
- 特別支援学級（肢体不自由者・病弱・身体虚弱者）

<役 員>

第5条 本会には、次の役員を置く。

部 長（1名）	副部長（若干名）	事務局長（1名）
幹 事	監 事（2名）	顧 問（若干名）

※ただし、幹事は、各支援学校から若干名、各教育事務所管内から、1名を選出する。

第6条 部長、副部長並びに監事は総会において選出し、幹事は部長が委嘱する。顧問は総会において推戴する。

第7条 役員任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。補欠による役員任期は、前任者の残任期間とする。

<会 議>

第8条 会議は、総会及び役員会とし、部長がこれを招集する。

- 1 総会は、会員をもって構成し、毎年1回以上開催する。総会は次の事項を決定する。
 - (1) 規定の制定及び改廃に関すること
 - (2) 事業及び予算決算に関すること
 - (3) 役員を選出に関すること
 - (4) その他、この会の運営に関する重要なこと
- 2 役員会は部長、副部長及び幹事をもって構成し、次の会務について審議執行する。
 - (1) 本会の運営と事業の調整
 - (2) 総会議案の作成
 - (3) 総会の委任事項の執行
 - (4) 予算の補正
 - (5) その他の必要な事項
- 3 監事は本会の会計を監査する。
- 4 役員会の議長は、その都度選出する。

<会 計>

第9条 本会の経費は会費、及びその他の収入をもって充てる。

第10条 会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

<付 則>

- 1 本規程は昭和50年7月5日より施行する。
- 2 昭和56年 6月 2日一部改正
- 3 平成11年 6月17日一部改正
- 4 平成13年 5月31日一部改正
- 5 平成16年 6月 4日一部改正
- 6 平成19年 6月 8日一部改正
- 7 平成24年 7月 3日一部改正

第4条 特別支援学校（肢体不自由者・病弱者） → 肢体不自由、病弱者

特別支援学級（肢体不自由者・病弱・身体虚弱者） → 肢体不自由者、病弱・身体虚弱者

第5条 各教育事務所管内から、1名を選出 → 各地区ブロックから、1名以上を選出

第7条 役員の任期は2年とする → 役員の任期は原則1年とする

